

会議名称 足立区地域保健福祉推進協議会 子ども支援専門部会（平成27年度第1回）	整理番号	1331
	作成年月日	平成27年8月5日
	作成者 所属・氏名	子ども家庭課子ども施策推進担当 小村・土井
開催日時 平成27年7月16日（木）午後6時～7時10分	配付先 子ども支援専門部会員・特別部会員（意見表明者）	
開催場所 区役所中央館8階 特別会議室		
議題 「特定教育・保育施設の利用定員について」ほか	配付資料 次第1部 資料1部 追加資料2部	
出席者（敬称略）（計35名） （部会員）有賀純三、大村仁子、池田昌子、乾雅榮、橋本幸雄、井元浩平、宮本博之、伊藤良久 （特別部会員（意見表明者））金杉洋子、廣島清次、根本俊昭、神藤とよ子、大野雅宏、掛川秀子、 三浦昌恵、飯田今日子、小田恵美子、中台恭子、市村智、古庄宏吉 （関連部署）住区推進課長 久米浩一、区民参画推進課 浅香京子、福祉管理課長 川口真澄、 生活支援課長 高橋秀幸、障がい福祉センター所長 荻原貞二、社会福祉協議会福祉事業部長 田口仁美、 保健予防課長 増田和貴、教育政策課長 杉岡淳子、学務課長 望月義実、 待機児ゼロ対策担当課長 松野美幸、子ども・子育て支援課長 小山幸俊、 子ども・子育て施設課長 後藤英樹、こども支援センターげんき所長 西野知之、 こども支援担当課長 渡邊勇、教育指導室統括指導主事 飯田、青少年課管理調整係長 広瀬 （事務局）子ども家庭課長 山根晃 福祉管理課調整担当係長 長門、待機児ゼロ対策担当課主事 齋藤、子ども家庭課子ども施策推進担当係長 小村、同主査 土井		
議事内容（議事要点・決定事項・調査事項・問題点・特記事項・次回予定・その他）		
1 審議・調査事項		
1 特定教育・保育施設の利用定員について ＜子ども家庭課、待機児ゼロ対策担当課、子ども・子育て支援課、子ども・子育て施設課＞		
2 報告事項		
1 子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて ＜子ども家庭課＞		
2 平成27年度の保育所等入所待機児童の状況について ＜待機児ゼロ対策担当課＞		
3 待機児ゼロに向けた取り組みについて ＜待機児ゼロ対策担当課＞		
4 梅田地域における認可保育所の開設時期の変更について ＜待機児ゼロ対策担当課、子ども・子育て施設課＞		
5 平成27年度の学童保育室待機児童の状況について ＜住区推進課＞		
3 情報連絡		
1 認可保育所の運営事業者の決定及び区立保育園の民営化計画の取り組みについて ＜待機児ゼロ対策担当課、子ども・子育て施設課＞		
2 認証保育所保育料における新たな助成の実施について ＜子ども・子育て施設課＞		
3 居場所を兼ねた子どもの学習支援事業の開始について ＜生活支援課＞		
次回の開催日：平成27年12月（予定）		

# 平成 27 年度 第 1 回足立区地域保健福祉推進協議会

## 「子ども支援専門部会」

平成 27 年 7 月 16 日（木） 午後 6 時～  
足立区役所 中央館 8 階 特別会議室

### 山根子ども家庭課長

それではみなさん、こんばんは。定刻になりましたので、27年度第1回の子ども支援専門部会を始めさせていただきますと思います。

本日はお忙しい中、足立区地域保健福祉推進協議会の子ども支援専門部会に出席いただきましてありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます子ども家庭課長の山根でございます。よろしくをお願いいたします。議事に入ります前に、今年度より新たに地域保健福祉推進協議会の委員になられた方のご紹介をさせていただきますと思います。足立区立小学校PTA連合会の若山様に代わりまして大村様が新たな委員になりました。大村様は遅れていらっしゃるということです、のちほど委嘱状を交付させていただきますと思います。中学校PTA連合会の芦川様に代わりまして池田様が新たな委員になりました。池田様、恐縮でございますがご起立願いまして、委嘱状を交付したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（伊藤子ども家庭部長より委嘱状交付）

委嘱状 池田昌子様 足立区地域保健福祉推進協議会委員を委嘱いたします。平成27年7月16日 足立区長近藤やよい

ありがとうございます。次にファミリー・サポート・センター提供会員の竹内様に代わりまして神藤とよ子様、この度子ども支援専門部会の特別部会員としてご参加いただくことになりましたので、ご紹介させていただきます。神藤様、恐れ入りますがご起立願います。

### 神藤特別部会員

神藤です。よろしくお願いいたします。

### 山根子ども家庭課長

どうぞよろしくお願いいたします。また、新たに委員になりました区の職員をご紹介いたします。名前を呼びますので、その場でご起立願います。学校教育部長の宮本博之でございます。

### 宮本学校教育部長

よろしくお願いいたします。

### 山根子ども家庭課長

子ども家庭部長の伊藤良久でございます。

## 伊藤子ども家庭部長

どうぞよろしくお願いいたします。

## 山根子ども家庭課長

なお、昨年度まで特別部会員としてご参加いただいております杉本様と三橋様におかれましては、ご都合によりご退任されることとなりましたのでご報告させていただきます。

では、資料の確認をさせていただきたいと思います。事前にお送り致しました資料を、本日お持ちになっていただけましたでしょうか。お持ちでない場合は事務局にお申し出いただければと思います。よろしくお願いいたします。なお、本日席上に参考資料と致しまして、児童相談所全国共通ダイヤル189(いちはやく)のチラシをお配りさせていただいております。後程お目通しをいただければと思います。よろしくお願いいたします。また、昨年度、皆様のご協力をいただき、策定させていただきました「子ども子育て支援事業計画」につきましても、席上に置かせていただいております。こちらも後程ご確認いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから一点、報告事項がございます。特別部会員様に関しましてですが、現在、子ども支援専門部会設置要綱の見直しをさせていただいております。まず、子ども支援専門部会の委員様におかれましては、地域保健福祉推進協議会の委員から選任されるようになっております。特別部会員の皆様については推進協議会の委員となられておりませんので、この度要綱の改正を行いまして、案件に応じて意見をお聞きするという意見表明者として出席していただくような方向で検討しております。皆様の任期等に関しまして、詳細については別途調整させていただきますが、29年の3月までは、のちほどご説明させていただきます「子ども・子育て支援事業計画」の任意事項というものがございまして、そちらの策定のところまでの間につきましては、引き続きこちらの部会に参加いただいて意見をお聞きしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

すみません、前後して恐縮でございますが、大村様がいらっしゃいましたので委嘱状を交付させていただきます。小学校PTA連合会の大村様でございます。

(伊藤子ども家庭部長より委嘱状交付)

委嘱状 大村仁子様 足立区地域保健福祉推進協議会委員を委嘱いたします。平成27年7月16日 足立区長近藤やよい

ありがとうございます。それでは只今から子ども支援専門部会を開催いたします。この専門部会は、足立区地域保健福祉推進協議会子ども支援専門部会設置要綱第5条第1項により、過半数の出席により成立いたします。現在、過半数に達しておりますので、会議は成立しております。

それでは議事に入らせていただきます。本日は柴崎部会長がご都合によりご欠席でございますので、部会長代理としまして有賀副部会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

有賀副部会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

## 有賀副部会長

皆さんこんばんは。台風の影響で雨が心配されましたけれども、幸いにも足立区にそれほど大きな影響がないということで安心しております。委員の皆様にはご出席いただきまして本当にありがとうございます。司会から話がございましたように、柴崎部会長が急遽欠席ということでありますので、

私有賀が議事の進行をさせていただきます。

なお、本日が平成27年度の第1回目の子ども支援専門部会でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入らせていただきます。お手元の議題にあります通り、本日の案件は、審議・調査事項が1件、報告事項が5件、情報連絡が3件です。最初に審議・調査事項の説明およびご意見の聴取を行い、そのあと報告事項、情報連絡を進めさせていただきます。皆さんご協力をお願いいたします。

それでははじめに、審議・調査事項、「特定教育・保育施設の利用定員について」でございます。なお本事項におきましては、報告事項の(2)平成27年度の保育所等入所待機児童の状況について、(3)待機児ゼロに向けた取り組みについて、(4)梅田地域における認可保育所開設時期の変更についてと関係がございますので、待機児ゼロ対策担当課長より併せて説明いただきます。そのあと質疑を行います。それでは待機児ゼロ対策担当課長、説明をお願いいたします。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

皆様こんばんは。待機児ゼロ対策担当課長松野でございます。よろしくお願いいたします。私からは特定教育・保育施設の利用定員についてご説明させていただき、その他関連のある3件についてご説明させていただきます。1ページをお開きください。こちらの案件に入る前に、メンバーも変わっていらっしゃいますので、前提条件のご説明を少々加えさせていただきます。

地域保健福祉推進協議会は子ども子育て支援法の地方版の子ども子育て会議として位置づけられております。一般的に多くの保育園は新規の開設は4月1日が多く、今年の4月に開設した園は3月の推進協で既に利用定員についてご審議いただいておりますが、今回10月1日に開設する保育園がございますので、その園の利用定員について、案件を提出させていただいております。認可保育園の場合は、認可は東京都が行っておりますけれども、区は給付の対象となる施設を確認するという役割が法で定められておりまして、今回はその定員の確認について皆様にご意見を伺うというものです。

こちらの案件の内容でございますが、千住に開設いたします「あい保育園千住大橋」につきまして、認可定員が0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児が6人・10人・12人・14人・14人・14人、合計70人ございまして、利用定員は今回地域の状況もふまえての開設でございますので、認可の定員と同じ利用定員となっております。2ページ、3ページにつきましては、千住エリアの待機児の状況の詳しい資料を付けさせていただいております。待機児の状況について、千住エリアにも触れながら、ご説明させていただきたいと存じます。5ページをお開きください。平成27年度の保育所と入所待機児童の状況についてでございます。今回4月1日の集計をいたしましたところ、322人という待機児童がございました。これは昨年の330人から8人減という状況で、依然として待機児が一定数いるという状況でございます。ただ、保育定員の推移というのは5ページの下でございますが、これまでも保育定員を増やしてきているところではございますが、なかなか待機児が減らない状況でございます。6ページをお開きいただきますと、7に待機児の状況ということで今お話しをしました322人という数字が載っておりますが、待機児が最も多かったのが先ほどご説明をいたしました千住地域となっております。ページが飛んでしまって申し訳ありませんが、8ページにブロック別待機状況がございます。1ブロックのところ真ん中のところ「計」というところで千住の待機児数が81と記載がございますが、前年度から比べますと39名増、81名が千住地域の待機児の状況でございます。また6ページの7の(3)に記載されておりますが、数字的には8ページを見

ていただきまして、一番下の右の表のところ、施設ごとの空き定員が594人ということで、322人の待機児に対しまして594人の空きがございますので、ミスマッチを解消する必要があると認識しております。

それから6ページにお戻りいただきまして、フルタイム就労世帯の待機児童数は前年比46名増の93名、それからフルタイムのところで見ますと千住地区のフルタイムは43名になっておりまして、フルタイムの待機児も多いし、千住地区の待機児は解消されていないという状況でございます。ただ、本年10月1日に開設する保育園、それから来年の4月に千住地区には2つの保育園が開設することになっておりますので、それで一定数解消される見込みではございます。

続きまして、これからの取り組みについてもご説明させていただきます。9ページをお開きください。待機児ゼロに向けた取り組みについてでございます。まず、1ですが先回りの保育施設整備ということで、毎年待機児解消アクション・プランを作成しております。これは2年スパンで作成しておりますが、今年は3か年で作成いたしまして、計画を拡大して早急に解決することを目指しております。特に大規模マンションの開発・沿線開発によって保育需要が増加している地域については、引き続き認可保育園を基本とした整備を行っていく予定でございます。27年から29年の3か年で1300人の定員整備を行いまして、待機児ゼロを目指していきたいと考えてございます。細かい整備の内容につきましては、ア・イ・ウ・エに表記のとおりでございます。これ以外に、施設整備以外に保育サービスのマッチング、保育コンシェルジュを設定しまして皆様方に保育のサービスを色々ご案内していくとともに、個別のマッチングもしていきたいと考えております。また、足立区は多様な保育サービスがございます。家庭的保育や小規模保育等の利用促進にも努めてまいります。また、全国的にも言われていることですが、保育サービスを担う人材の不足が言われておりますけれども、そういったところでも区内の大学等々と協力しながら、保育士の確保に努めてまいりたいと考えております。また、4になりますますが就学前教育などの保育の質のさらなる向上を目指しまして、待機児ゼロだけではなく、教育委員会を挙げた取り組みを考えているところでございます。待機児ゼロ対策は喫緊の課題であります、解消だけではなく質・内容についても取り組んでいきたいと考えてございます。

最後の案件になります。11ページをお開きください。梅田地域における認可保育所の開設時期の変更についてでございます。こちらにつきましては、東武伊勢崎線の梅島駅と西新井駅の間に高架下に整備しております保育園につきまして、1月1日の開所を予定しておりましたが、これを28年4月1日に変更をするものでございます。変更理由でございますが、細かい分析を致しましたところ、1月1日の入所の場合には育児休業中の保護者は翌月の1日までに職場復帰をしなければいけません。一般的には4月1日から育休復帰をするという企業が多いとの状況が区民の声からも読み取れましたし、また1月1日の開所ですと12月20日を過ぎてからの決定になり、利用者の方にも非常に厳しい日程を強いることにもなりますので、こういった観点から4月1日に開所を遅らせるものでございます。

また、保育士確保の問題もあり、こうした判断も加味したものでございます。さらに新制度が始まり、助成制度に関する国の対応が遅れているということもございまして、今回このような判断をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

#### 有賀副部長

はい、説明ありがとうございました。本日の審議・調査事項になっております「特定教育・保育施設の利用定員について」でございますけれども、こちらは、子ども子育て会議の本体であります地域

保健福祉推進協議会に諮るまえに皆様方からご意見をいただくものでございます。

それでは報告（２）（３）（４）とあわせて、質問、ご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

特に認可定員と利用定員の違いというのは、お分かりになりましたでしょうか。ここが今日の一番のポイントでございますけれども。

#### 齋藤待機児ゼロ対策担当課主事

ただいまご質問のございました認可定員と利用定員の違いについて、私からご説明をさせていただきますと思えます。

まず、認可定員でございますけれども、これは保育園にお子様が入れるキャパシティ、規模を東京都として認めるものでございまして、それに対して利用定員というのはここに足立区として何人子どもを入れるのか、足立区が税金をつかってそこで保育を行うわけでございますので、何人分のお金を投入するののかという意味合いでございます。以上でございます。

#### 有賀副部長

認可定員、目一杯まで区で準備をするということですね。

他に質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、地域保健福祉推進協議会のほうに、ただいまの説明といただいたご意見について報告させていただきます。ありがとうございました。

それでは次に、報告事項に入らせていただきます。報告事項（１）子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて、子ども家庭課長より説明をお願いします。

#### 山根子ども家庭課長

それでは、報告事項（１）について、ページ数でいいますと４ページをお開きください。「子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて」でございます。さきほど、お配りいたしました子ども・子育て支援事業計画でございますが、こちらの必須事項につきましては、昨年度幼児教育ですとか保育の量の見込みに対する確保や実施時期について、皆様からもご意見をいただき、２７年３月付で策定いたしました。今後でございますが、区として基本構想、基本計画の策定作業を進めており、また、分野別の計画といたしまして教育大綱や教育基本計画、それから子どもの貧困対策の実施計画等々の計画を足立区として現在策定を進め、検討を行っております。これら計画との整合性を図りながら、子ども・子育て支援事業計画の理念部分を策定してまいります。こちらは足立区における子ども・子育て支援事業はどうあるべきかということ策定していく部分になります。計画の理念、それから目的と体系、目標設定などを、指標を含めて策定してまいります。それから国が示しております子ども・子育ての指針としては、児童虐待防止の観点、ワークライフバランスの推進についても、任意記載事項としてあげられております。また、足立区におきましては、第２期のあだち次世代育成支援行動計画がございます。こちらについては２２年から２６年の５年間の計画期間として策定しておりましたが、２６年度で計画期間を終了しておりますので、成果分析や評価結果についての分析を行ったうえで、次の子ども・子育て支援事業計画にも反映させてまいりたいと考えております。

次に、今後のスケジュールでございます。子ども・子育て会議でございます地域保健福祉推進協議会、子ども支援専門部会を含みますけれども、こちらでご意見を賜りながら、策定を進めていく予定

でございます。スケジュールについては、標記のとおりでございます。今年度についても、何度か骨子案等々について、この会にお示しさせていただいてご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。なお、第3期の足立区次世代育成支援行動計画もあわせて、この子ども・子育て支援事業計画と一緒に策定を進めていく予定ですので、こちらについても検討を進めてまいります。以上でございます。

#### 有賀副部長

ありがとうございました。

報告事項の(2)から(4)はさきほどご説明いただきましたので、報告事項(5)平成27年度の学童保育室待機児童の状況について、住区推進課長より説明をお願いします。

#### 久米住区推進課長

では、私より、学童保育の待機児の状況について説明させていただきます。12ページをご覧ください。今年の4月から学童保育の対象者が1、2、3年生に加え、新たに4、5、6年生が対象となりましたので、対象学齢児数が昨年1万5千余だったのが、1万7千人増えて3万2千人となりました。そのため、申請者数が昨年より861人増えて4,813人、学童のうち14.8%の方々がご申請なさったという形でございます。そして、待機児童数でございますが、昨年は36人でしたが、プラス90人、126人と増えてまいりました。13ページの一番下をご覧ください。各ブロックごと、各学年ごとの待機児童数でございます。1年生は1世帯だけ入れなかった、2年生14人、3年生39人ということで、指数調整をしてなるべく1、2年生が入れるように調整させていただいております。私からは以上でございます。

#### 有賀副部長

ありがとうございました。報告事項(1)と(5)について、質問、ご意見があればお願いします。

私から1点よろしいでしょうか。子ども・子育て支援事業計画についてでございますけれども、第2期のあだち次世代育成支援行動計画が平成26年度で終了しているわけですが、次の計画が平成29度からということですね。そうすると、27年度と28年度というのは、どういう計画に基づいて、あるいはどういう目標をもって子ども子育ての事業を展開していくのか。この2年間はどのようにするのか、ご説明いただきたい。

#### 山根子ども家庭課長

さきほど27年3月に策定済みとご説明させていただきました子ども・子育て支援事業計画の必須事項につきましては、こちらの事業計画をもとに進めてまいります。それから、部会長からご指摘のあったこちらの事業計画にのっていない部分で、第2期の次世代育成支援行動計画にのっている部分につきましては、第2期の部分を更に延長して進めていくというように考えております。

#### 有賀副部長

ありがとうございました。そのほか、質問等ございますか。よろしいですか。

無いようですので、次に情報連絡に入らせていただきます。情報連絡の(1)認可保育所の運営事業者の決定及び区立保育園の民営化計画の取り組みについて、それから(2)の認証保育所保育料に

おける新たな助成の実施について、これらを子ども家庭課長より説明をお願いします。

続いて、(3)の居場所を兼ねた子どもの学習支援事業の開始についてを、生活支援課長より説明をお願いいたします。

#### 山根子ども家庭課長

私からは、情報連絡(1)(2)について、説明をさせていただきます。まず、14ページをお開きください。

認可保育所の運営事業者の決定及び区立保育の民営化計画の取り組みについてでございます。まず、28年の4月開設予定の保育所についてのご説明でございます。千住龍田町の認可保育所につきましては、社会福祉法人信正会が事業者として決定しております。定員は80名を予定しております。

続いて、新田二丁目でございますが、認可保育園につきましては株式会社こどもの森が事業者として決定しております。定員は60名を予定しております。また、千住緑町二丁目の認可保育園でございますが、こちら事業者はこどもの森になります。定員は80名でございます。

続いて(4)でございますが、区立花畑保育園がこのたび移転して民営化ということになります。新設ということにはなりますが、事業者が決定したということでご報告させていただきます。社会福祉法人檸檬会がこちらの法人として決定いたしました。定員170名でございます。

次ページ、16ページをお開きください。区立保育園の民営化計画の取り組みということでございまして、平成29年度に向けまして、対象の園についての報告をさせていただきます。計画どおり、民営化を進める園は3園中2園でございます。1番の西新井保育園、こちらについては単独施設ということですので、完全民営化ということで進めさせていただきます。それから、2番目の五反野保育園でございますが、こちら複合施設でございますので、公募により指定管理者を募ってまいります。それからイの(1)でございますが、第三上沼田保育園については、当初は民営化計画に入っておりましたが、こちらの園は都営住宅の下に入っておりまして、40年代に建てられた都営住宅ということで建て替えの可能性があるため、指定管理期間が基本的に10年のところ、いつ建て替えとなるかわからない状況になりますので、区立保育園として継続してまいりたいと考えております。

それから、(2)でございます。指定管理者で10年を経しております青井保育園、こちらにつきましては再公募を行う予定でございます。

民営化の理由につきましては、保育サービスの充実ということで、午前7時から午後8時30分までの延長保育、また年末保育が可能となるということがございます。民営化のスケジュールについては下記のとおりスケジュールで、今後、事業者の選定を行ってまいりたいと考えております。また、新制度になり、区に指導検査の権限が付与されたということがございますので、保育の質の向上を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、19ページをお開きください。

認証保育所の保育所における新たな助成の実施でございます。

認証保育所は、このたび新制度の中では認可保育所と同じという形にはなりませんので、所得が低い方については保育料が高いということもありまして、敬遠される傾向がございました。従来からも、年齢区分に応じた一律の助成を行ってきたところでございますが、それに加えて所得に応じた助成金をこのたび作りまして、4月1日にさかのぼって適用するということの報告でございます。新たな助成制度の概要としましては、いままでの一律の助成にプラスして所得ごとの助成を上乘せし事業者にお支払いするというものでございます。事業者は保護者に請求する保育料を減額して請求

するというような形で、認証保育所を使いやすくしていくものでございます。助成の対象は、20ページをお開きいただければと思いますが、主にA階層の生活保護の階層からD5階層、基本的には住民税の所得割が9万円未満の方に対して、それぞれ所得に応じた助成を上乗せするというものでございます。こちらについては27年4月1日に遡って適用する方向で事務手続きを進めているところでございます。また、区民の方々、事業者の方への説明をしっかりと行ったうえで、適正な支払いを行ってまいりたいと考えております。私からは、以上になります。

#### 高橋生活支援課長

生活支援課長の高橋でございます。情報連絡(3) 21ページをお開きください。居場所を兼ねた学習支援事業の開始について、その目的は、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図るために、中学生に学習の場所と機会を提供してまいります。場所につきましては竹の塚駅東口にある民間ビルの1室を借りまして、8月下旬頃からスタートする予定でございます。運営は、区内で活動実績のありますNPOに委託をしております。対象は中学生60名で、ボランティアの大学生がマンツーマンで学習指導を行っていくという内容でございます。居場所スペースでは、子どもの状況に応じまして食事やおやつを提供していこうと考えております。参加の方法については記載のとおりでございますが、福祉事務所のケースワーカー、こども支援センターげんきのスクールソーシャルワーカー、中学校の教員が支援を必要とする子どもを把握しまして生活支援課の方に保護者又は本人が参加の申込みをするという内容でございます。私からは以上でございます。

#### 有賀副部長

ありがとうございました。以上、3点、情報連絡事項について説明がございましたが、ご質問ございますでしょうか。

せっかくの機会でございますので... 今日の事項、全般を通してご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

#### 古庄意見表明者

私立幼稚園協会の古庄と申します。

6ページに今回の待機児に対してミスマッチがございましたと書いてありますが、こういったミスマッチがあったとお考えでしょうか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

ミスマッチですが、保育施設の空き定員594名というところの100チョットの数字は、新規開設の認可園での空きでございまして、どうしても3、4、5歳は既に他の保育園に入られていたり、幼稚園に通われているという状況もございますので、これは年齢のミスマッチということで致し方ないミスマッチかなと考えております。それから、認可保育園をご希望になって、小規模保育室、保育ママをご希望にならないという方がいらっしゃいまして、統計上見ても、パートさん、短時間労働の方が小規模保育室や保育ママを利用されても良いのではないかと、こちらからは思える部分があるのですが、それが待機になっているという状況もございます。この点については、保育のサービスが多様であるという部分を、こちらが伝えきれていないということもひとつの原因であると考えてございます。

#### 古庄意見表明者

ありがとうございます。7ページにはそれぞれの特定地域型保育事業、認可外もございますが、入所率というのがございます。この入所率は、これまでと比べて変化があるのでしょうか。施設によっては何か使いづらいつか、そういった事情が率に影響しているのでしょうか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

小規模保育室、家庭的保育の入所率は、前年よりも低かったという状況でございます。ただ、これは4月1日の状況でございます。それから2カ月ほど経った現在の状況ですと、ほぼ9割近くご利用になっている状況が見られますので、利用率自体は例年並みに上がってきていると判断しております。

#### 古庄意見表明者

資料では入所率が77.75%とか、68.59%とありますが、それが現在は9割になってきているということよろしいでしょうか。

それから、ここには書いてございませんが、認定こども園の入所率は、どうなっているのでしょうか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

小規模等はおっしゃる通りです。認定こども園の入所率は数字として出してございませんが、こちらについては例年並みと判断してございます。

また、入所率ということではないのですが、8ページに施設別ごとの空き定員を掲載しております。認定こども園の空き状況は22名でございます。これは4月の状況でございますので、その後若干埋まっていると推測しております。

#### 古庄意見表明者

分母はいくつですか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

7ページをお開きいただき、認定こども園の小計のところを見ていただきますと、653名という状況でございます。

#### 廣島特別部会員

認証保育所の廣島でございます。2点ほど、お聞きしたいのですが、まず1点が事業計画の8ページ、量の見込みのなかで大事な点があると思うのですが、まず1つが0、1、2歳までは小規模、家庭的保育、あるいは認証ということですが、3歳児以降のことがここに表記されている、それは認証保育所が施設等の拡充を含めて3歳児以降の定員を増やす可能性があると言われてありますが、ひとつお聞き申し上げたいのが、認証保育所について今後どのような方向性でお考えになっているかというのが1点でございます。これは当然、事業計画の中でも認証保育所の認可化を見込んだうえで3歳児対策になろうと思います。

もう1点は、小規模、家庭的保育は今年から区の方で利用調整をしていくことになりましたが、当然、連携施設を前提とした制度であるということ、また、もう既に他の区では明確な行動計画が策定されているところもあるなかで、実際、来年の3月の時点でこの4月に区が利用調整をしたうえで入園された2歳児の方が3歳児になったときに、区として、そのお子さんの行先等について、具体的なことをお考えかどうか、これは大きな問題になってくると感じております。これは、特に今年については、制度の端境期ということで若干の抗弁はできるかとは思いますが、来年度以降については明確な課題になってくると認識しておりますので、この辺のことについてのご見解をお聞きしたい、以上でございます。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

まず、認証保育所の認可化の問題についてでございます。認証保育所は東京都の制度でございますが、いま待機児の対応をしているなかで、規模を大きくして認可化していただけるというところに非常に期待しております。そういった視点での認可化というのをまず優先的に考えていきたいと考えております。また、東京都が認証保育所をどのような方向にもっていくのかというところをまだ公式に見解をいただいているところですが、認証は認証のとても良い部分があって、直接契約で、しかも13時間の開所で、駅近で、利用者の方も喜んで認証がいいと言っている方もいらっしゃると思いますので、東京都の動きも見ながら考えていきたいと思っております。

それから、小規模保育室、家庭的保育をご利用の方の3歳児以降の連携についてでございますが、区としても重要な問題だと考えてございます。いま待機児の面から見ますと、3、4、5歳の待機児は少ない状況でございます。これは認可に入っていく方、それから幼稚園にいかれる方、幼稚園の一時預かりなどをご利用になっている方が相当数いらっしゃるということが、統計上からも見えております。このあたり、実際、利用者の方はどのように考えていらっしゃるのかというような調査をしながら、連携先というのをどう進めていったらいいのか、考えていく必要があると思っております。

#### 有賀副部長

よろしいですか。その他、ご質問ございますか。

#### 市村意見表明者

民生委員の市村と申します。居場所を兼ねた学習支援事業の開始についてということですが、これは27年8月ごろに運営を開始するというところでございますが、現在募集をしているのでしょうか。募集しているとしたら、現在どれくらいの応募があるのかということと、具体例として事情により放課後・夜間に子どもだけで過ごす等とありますが、子どもの状況に応じて夜遅くまで子どもを支援してくれるということですか。

#### 高橋生活支援課長

募集についてですが、福祉事務所であるとか、学校あるいはSSW、こうした関係所管などに働きかけておまして、募集はしております。8月の下旬ということなので、まだ集計はできておりません。60名の募集ということですが、スタートまでにはある程度、埋まるのではないかと見込んでおります。

あと、事情により放課後・夜間に子どもだけで過ごすということについては、20時ぐらいまでは

支援をしていこうということで、21時頃までには家庭に帰れるよう考えております。

#### 有賀副部長

その他、ご質問、ご意見ございますか。

#### 大野特別部会員

待機児ゼロに向けての取り組みについてというところで、保育サービスを担う人材確保ということ触れられておりますが、実際に保育士さんが足りないという状況になっていることでしょうか。それがどれくらい足らなくて、とれくらい必要なのか、数字は出ているのでしょうか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

現在のところ、区内で保育事業を営んでいらっしゃる法人さんが実際ネット上の求人などを出していらっしゃるという状況はつかんでおりますが、具体的な数字は今のところつかんでおりません。ただこれから新設で保育園をつくっていく必要があるというところでは、150から180人の保育士の確保が必要となるのではないかと推測しております。

#### 大野特別部会員

大変ですね。4月のあたまで150人。他の区も同じようにそろえるわけですものね。このまま足らないとせっかく施設をつくったけど、入れられないという話になると思うので、ここの対応は大事な気がするのですが、それに対する対応が、合同面接会と奨学金とお祝い金、というところで150人足りるとお考えでしょうか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

いまの150人という人数は、3年間での数字でございます。説明が足りず、申し訳ありません。私どもも、どのようなことをすれば足立区の保育園で働いていただけるものかと知恵を絞っているところですが、足立区には大学や専門学校がございますので、そうした学校に対して早いうちから足立の保育について説明をし、ご理解をいただきながら、就職の機会も積極的につくっていくお手伝いもしていければと思っております。また、足立区は人口も多々ございますので、潜在的保育士さんがいらっしゃるかと推測しております。そういった方々が再就職をして保育の現場に戻っていただけるような工夫が何かできないかと考えているところでございます。

#### 大野特別部会員

これはハローワークと連携してということですか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

ハローワークとも相談をしております。集団面接会などでの連携を調整しているところでございます。

#### 大野特別部会員

意見としては、保育のサービスが充実してくると、いろんなサービスに手を出す人が増えてくると

思うので、小規模とかはサービスが低いと思われがちだと思いますので、保育士さんの質も含めてサービスを上げることを考えると待機児が減ってくるのではないかと思います。以上です。

#### 有賀副部長

よろしいですか。他にございますでしょうか。

#### 古庄意見表明者

いま質問に関連してなのですが、9ページの3番のところの保育士サービスを担う人材の確保、合同面接会の実施、ここでいう保育事業者とは保育所、小規模保育すべてを含めてのお話ですか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

そのように考えております。幼稚園や未就学の方が通われている施設が対象ということで考えております。

#### 古庄意見表明者

そうですね。はじめて聞いたものですから。幼稚園というのは聞いたことがなかったもので。いつごろ、どのように計画されているのですか。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

いまのところ、まず大学との連携を8月に予定している件が1件ございます。そのあと、潜在保育士の関連では、区で復帰に向けた講座を行いまして、ハローワークの面接官へつなげられるような動きをつくっていきたいと思っております。現時点ではこれらを中心にと考えてございますが、ただ、今年の5月1日に待機児ゼロのセクションができたものですから、検討期間がまだ短いということもございますので、来年度に向けても今後考えていきたいと思っております。

#### 古庄意見表明者

保育士だけではなくて、幼稚園教諭もなかなか採用できない厳しい状況にありましてですね、ぜひ一緒に加えていただいております。よろしく申し上げます。以上です。

#### 有賀副部長

その他、ご質問、ご意見ございますか。

#### 根本特別部会員

今の保育士確保のお話ですが、国と都で、保育士の家賃補助を出しているかと思うのですが、それを足立区としては利用するのかしないのか。利用しないのであればなぜ利用しないのか、それをお聞きしたいと思います。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

保育士確保の家賃補助、国や都の補助金を利用して活用できるという状況は把握しております。また23区の中でもいくつかの区が取り組むということで、私どもも今検討をしております。ただボ

リユームがどのくらいなのかとか、効果的にどうなのか、うちの区に合うかどうか、という点について、やはり税金を使っていくものなので検討させていただいて、というところで動いております。

#### 伊藤子ども家庭部長

少し補足いたしますけれども、家賃を借りてから補助する形ではなく、事業者が借り上げたところに対しての家賃補助になりますので、事業者さんの方で借り上げていただかないと家賃補助が出ないという補助金の仕組みになっております。そういう形で従業員を確保される法人さんや事業者さんがどのくらいいるかとなりますと、なかなかアンケートでもとってみないとわからないかなと思っておりますけれども、少し時間をかけて詳細に検討を進めてまいりたいと思います。

#### 根本特別部会員

ありがとうございます。それでいつぐらいまでに検討されますか？

#### 伊藤子ども家庭部長

出来れば、もし実施することになれば、来年度の事業として取り組めないかと考えております。

#### 根本特別部会員

ありがとうございます。

#### 有賀副部長

はい、その他、何かございますでしょうか？

#### 乾部会員

居場所を兼ねた学習支援事業の件なんですけれども、資料2 1ページになります。大変足立区は広い地域で。まずは、竹の塚地区にできます、とりあえず8月開所ということで、その後の計画などがありましたらお聞かせください。

#### 高橋生活支援課長

今年度は竹の塚に1か所ということで、足立区としてこういった取り組みは初めてでございますので、今年1年間やってみてニーズが今後もあるということになれば、東部地区や西部地区に是非拡大をしていきたいと考えています。まず、今年1年間実施の状況を見てみて検討させていただきたいと思います。

#### 有賀副部長

その他よろしいでしょうか？

はいどうぞ。

#### 中台特別部会員

特別部会員の中台です。先ほどの保育士さんと幼稚園教諭の人材の確保についてなんですけれども、私、素人考えで大変申し訳ないのですが、単純にお給料が上がれば人は集まるのではないかと考えて

しまうことがよくありまして、保育士さんは看護師さんほど医療関係のことをするわけではないので、求人誌とかを見ても事務職にプラス200～300円程度のお給料で働いている方がたくさんいらっしゃると思うのですが、ただ命を預けている方たちですし、命を預かっているお仕事でもありまして、事故が起こればその方の人生を左右してしまうような状況にもなりますので、命を預かるお仕事の割にはお安い手当だなと感じることが結構ありますので、その辺をもう少しどうにかしたら足立区にたくさん保育士さんが来ていただけるのではないかと、素人考えですが思いました。以上です。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

保育士の給与が低いのではないかとお話がございましたが、確かに保育士の処遇改善というのが今まさに図られているところでございます。また非常にハードな仕事である・責任がある、そういったところでも責任をなかなか負いたくないというような気持ちで、辞められていく方も多いというように聞いておりますので、しっかりと安全管理をしていくことができ、自信を持って働けるよう、研修ですとかそういった部分も区としてサポートしていきたいと考えております。

#### 広島特別部会員

16ページの区立保育園の民営化についてお聞きしたいのですが、民営化は時代の流れとして当然のことだと思います。また適正な民営化というのは、推進していかなければならないと思います。反面、長期的には別として、今現在、短期的には非常に困窮している家庭あるいは指数によって認可に入れないという保護者も相当数いらっしゃいます。そして、認証・認可外等につきましても、途中で入園するのは難しい状況でもございます。民営化は当然の流れとしたうえで、これからはやはり、区立保育園の良さを際立たせていく、つまり、区立保育園の特化したもの、たとえば緊急避難的な定員枠をつくっておく、障がい児保育の枠を広げるなど、受け皿としての区立保育園の機能を強化していくことが重要であって、あるいは民営化の理由の中に8時半までの延長保育とありますが、私は公立・区立保育園も率先して品川じゃありませんが夜間もやるぐらいの機能特化していくということが、重要であると思います。必ずしも民営化だけが全てではない、むしろ地域の保育コンシェルジュではありませんが、相談窓口を併せ持つぐらい機能特化すべきだと思います。区の職員のみなさんも相当高い能力をお持ちの方が多いわけですから、ぜひそういう意味で民営化を進めると同時に地域の拠点となる保育園づくり、16ページの下のほうにありますけれども、「現在保育の指導を日常的に行っているが、今後さらに指導検査方法を確認し保育の質の向上を図っていく」、まあ検査することも大事だと思いますが、検査するというよりも地域の支えになるよう機能特化していくことの方が重要であって、検査機能はかえって私はこの表現には不具合を感じます。むしろこれは違う立場の方がしていけばいいわけであって、区立保育所が上で、認可保育所が下だという、こういうイメージを植え付けるような表現については誤解を招くことになるかと思えます。長くなってしまいましたが、区立保育園の良さをぜひアピールしていただいて、機能強化をしていただければ区民サービスの向上につながっていくということで、ぜひご検討いただきたいと思います。

#### 山根子ども家庭課長

いま委員からお話しがありました民営化につきましては、10年以上進めてきているところでございます。現在認定こども園をいれますと41園になっていまして、既にかかなりの数の指定管理も含めた民営化を進めております。いままでのところでいいますと、さきほどご説明しました都営住宅が建

って、その下に保育園が建ち、そこに住まわれている方がお子さんを預けるということで区立保育園を整備してきた経過がございました。しかし、私立保育園がこれだけ増えてきたり、小規模とか保育ママとか多様な保育のメニューが増えてきているとなると、まさに区立保育園の役割は何なのかと、我々もいま議論を進めております。さきほどの先進的な保育ですとか発達支援児の保育等々につきましても、充実を図ってまいりたいと思っております。

表記のご指摘がございましたけれども、指導につきましては今年度から新制度のもとで区にこのような権限が入ってきております。ここに付きましても、保育の現場を知らない者が、皆様方のところに入っていきような話があっては齟齬をきたすというようなこともございます。決して上とか下とか言うようなことではございません。現場がわかっている職員が多くおりますので、ぜひこれら職員をもって足立区全体の保育の質を上げていくことにも、皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと考えております。

#### 廣島特別部会員

ありがとうございます。

もう一つは、夜間保育も着実に区主導で進められれば一番ありがたい。むしろ、民間ができないことをやっていくと、こういった視点が実はまさしく区民から支持を受けることにつながる、さすが足立区は違うと言われる先鞭をつけていくためにも、民間ができないことを区が率先してやっていくぐらいの気概をいただければありがたい。よろしく申し上げます。

#### 有賀副部長

そのほか、ご意見、ご質問ございますか。

はいどうぞ。

#### 根本特別部会員

さきほどお話のありました連携保育の件です。3、4、5歳の待機児童が少ないということですが、3歳に上がるとき連携するだけでなく、保育の内容のなかで連携できる、そういった形のことを待っている状態なんです、小規模なんかはですね。ですのでそういったことを考えながら、早く検討していただきたいと思います。足立区さんはいつも検討期間が長いと私は思うんです。その辺を含めて何とか早く考えていただければと思います。

#### 松野待機児ゼロ対策担当課長

保育の質の面でのご意見ということかと思いますが、足立区全体の保育の質をあげていくということで重要な部分と思っておりますので、早急に取り組んでいきたいと思っております。

#### 有賀副部長

そのほかご質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、これにて質疑を終了させていただきます。たくさんのご質問やご意見をいただきましてお礼申し上げます。

改めて待機児童対策や保育人材の確保といった課題が浮かびあがってきました。区では待機児童対

策は年度途中の5月に専門の課を立ち上げて取り組むという強い意気込みをもって進められております。例えば新制度で認可事業になった家庭的保育事業のPR強化ですとか、具体的な取り組みをぜひ進めていただければと思います。

それから、子ども・子育て支援事業計画の任意部分につきましては、区全体の基本構想、基本計画の策定を進めておりますので、そことの整合をとりながら、ぜひ調整を図りながら実効性のある計画を作っていただければと思います。

進行にご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。それでは事務局にお返しいたします

#### 山根子ども家庭課長

有賀副部長ありがとうございました。

それでは、最後に事務局からの連絡事項でございます。次回の子ども支援専門部会につきましては12月の開催を予定しております。日程が決まりましたら、ご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。

また、本日の会議録につきましては、後日委員の皆様へ送付させていただきます。内容等をご確認いただき、誤り等がございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。

本日お車でお越しの方につきましては駐車券をご用意しておりますので、出口で事務局職員にお声かけをしていただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。